２０２５年度

大学院文学研究科博士課程前期２年の課程入学試験

（　冬期・一般選抜　）問題

専門科目　中国思想中国哲学　専攻分野

試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。

受験記号番号

2025年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

（冬期・一般選抜）問題

専門科目（ 中国思想中国哲学 専攻分野）

問一．次の文章①②は、清・姚鼐「礼箋序」の一部である。現代日本語に翻訳せよ。

解答は、①②それぞれの問題文の左側に記せ。 ※問題文には句読点等を書き入れてもよい。

①

有人江海之深廣欲窮探其藏使後之人將無所復得者非至愚之人不爲是心也六經之書其深廣猶江海也自漢以來經賢士鉅儒論其義者爲年千餘爲人數十百其卓然獨著爲百世所宗仰者則有之矣然而後之人猶有能補其闕而糾其失焉非其好與前賢異經之說有不得悉窮古人不能無待於今今人亦不能無待於後世此萬世公理也吾何私於一人哉

績　　成

②

犯天下之所不韙而不爲吾心之所不安其治經也亦若是而已矣歙金藥中修撰自少篤學不倦老始成書

其於禮經博稽而精思愼求而能斷修撰所最奉者康成然於鄭義所未衷糾舉之至數四夫其所服膺者眞見其善而後信也其所疑者必核之以盡其眞也豈非通人之用心烈士之明志也哉

大丈夫寧

受驗記号番号

受験記号番号

問二．次の文章は、福田殖「宋明の道学詩に関する二、三の問題」（『宋元明の朱子学と陽明学』）の一節である。これを読み、全文を現代中国語に訳せ。

程伊川は道学者中の道学者と言えよう。伊川は世界の理念化を極めようとした人物である。道徳で以て詩文を律せんともした。同時代では蘇東坡から最も嫌われ、南宋では陸象山から強い不満をもたれている。蘇東坡は周敦頤には敬意を払っている面があるので、程伊川の道徳主義の立場を頭から否定したとは思えない。おそらく伊川の過度な分析と極端な道徳主義に積極的な価値を認めなかったのであろう。陸象山も幼少の頃から伊川の言に違和感を抱いていた。そして伊川より兄の程明道に親近感をもっていた。

程伊川は真正の道徳は根源的であると同時に自明的に存在している永遠なるものであることを沈黙のうちに自覚することが大切だと言っているのだと思う。文辞の背後に道徳の存在がなければ、文辞は深さを失い、人を感動させる力を失ってしまうと考えたのであろう。伊川は若干の奇人的性癖はあったけれども、道徳的天才であることはまちがいない。ただし数学的真理のように厳密客観的な理の明晰性を優先させたために、心情を価値優先させる陸象山からは批判されたのである。

受験記号番号	

受験記号番号

問三．左記の六項目の中から三つの項目を選び、それぞれについて知るところを記せ。

中国語による解答も可。

①弘明集　②隋書経籍志　③張載　④林希逸　⑤湛若水　⑥王夫之